

戸開走行保護装置【待機型】検査記録表(ロープブレーキ+ES20)

UCMP大臣認定番号							
検査者氏名		検査実施日					
検査対象	検査内容	判定基準	検査記録				
1. UCMP認定機器	使用機器の確認 ・制御盤貼布の認証番号ラベル	左記ラベルに記載されている機器と同一のものが取付けられている	判定	良	否		
			今年度の値	N			
			前年度の値	N			
			年次変化量 <small>(前年度の値 - 今年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>	N			
			今年度の10%の値	N			
			判定	良	否		
			今年度の制動力が 「規定値 + 年次変化量」以上であること 制動力 ≥ 規定値 + 年次変化量 制動力の規定値は以下の通り #620(L): 4000N、#622(L): 8400N #624: 8130N、#626: 16000N	判定	良	否	
			2-2. 待機型ブレーキのコイル電源遮断からブレーキが定格制動力を発生するまでの動作時間を確認する	動作遅れ時間の年次変化量が30ms以下であること 年次変化量 ≤ 30ms	今年度の値	ms	
					前年度の値	ms	
					年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>	ms	
判定	良	否					
2-3. 制動状態でのパッド間隔を測定する	認定番号がENNNUN-2626・2627・2628・2629は規定値A 認定番号がENNNUN-2656・2657・2658・2659・2800・2801は規定値B	ロープ径	mm				
		パッド間隔	mm				
		判定	良	否			
		ロープ径 規定値A 規定値B Φ10 2.5mm 1.7mm Φ12 4.5mm 5.3mm Φ16 8.5mm 9.3mm					
3. 動力遮断用 コンタクタ	3-1. コイル電源遮断から常閉接点が閉状態になるまでの動作時間を確認する	コンタクタ型番及び規定値		作動時間			
		#36(S1) 型番:	今年度の値	ms			
		規定値 ms	前年度の値	ms			
		年次変化量が15ms以下であること 年次変化量 ≤ 15ms	年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>	ms			
			判定	良	否		
		作動時間が「規定値 - 年次変化量」以下であること 作動時間 ≤ 規定値(接触器型番毎の数値) - 年次変化量		判定	良	否	
		#36U(S2) 型番:	今年度の値	ms			
		規定値 ms	前年度の値	ms			
		年次変化量が15ms以下であること 年次変化量 ≤ 15ms	年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>	ms			
			判定	良	否		
		作動時間が「規定値 - 年次変化量」以下であること 作動時間 ≤ 規定値(接触器型番毎の数値) - 年次変化量		判定	良	否	
		#RBH 型番:	今年度の値	ms			
		規定値 ms	前年度の値	ms			
		年次変化量が15ms以下であること 年次変化量 ≤ 15ms	年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>	ms			
			判定	良	否		
		作動時間が「規定値 - 年次変化量」以下であること 作動時間 ≤ 規定値(接触器型番毎の数値) - 年次変化量		判定	良	否	

検査対象	検査内容	判定基準	検査記録			
		#RBHA 型番:	今年度の値	ms		
		規定値 ms	前年度の値	ms		
		年次変化量が15ms以下であること 年次変化量 ≤ 15ms	年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>		ms	
			判定	良	否	
	作動時間が「規定値-年次変化量」以下であること 作動時間 ≤ 規定値(接触器型番毎の数値) - 年次変化量	判定		良	否	
		3-2. コイル電源遮断から常閉接点が閉状態になるまでの作動時間を確認する ※ランディック運転なしの場合は判定不要	#A36(SA1) 型番:	今年度の値	ms	
	規定値 ms		前年度の値	ms		
	年次変化量が15ms以下であること 年次変化量 ≤ 15ms		年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>		ms	
			判定	良	否	
	作動時間が「規定値-年次変化量」以下であること 作動時間 ≤ 規定値(接触器型番毎の数値) - 年次変化量	判定		良	否	
		#A36Aまたは #AR2(SA2) 型番:	今年度の値	ms		
	規定値 ms		前年度の値	ms		
年次変化量が15ms以下であること 年次変化量 ≤ 15ms	年次変化量 <small>(今年度の値 - 前年度の値) (マイナスの場合は0とする)</small>		ms			
	判定		良	否		
作動時間が「規定値-年次変化量」以下であること 作動時間 ≤ 規定値(接触器型番毎の数値) - 年次変化量	判定		良	否		
	3-3. 停電時自動着床装置の動作を確認する ※ランディック運転なしの場合は判定不要	正常に動作する	判定	良	否	
4. 特定距離感知装置	特定距離感知装置が正常に動作することを確認する	特定距離感知装置による停止距離は規定値内である	規定値	mm		
上昇			mm			
判定			良	否		
下降			mm			
判定			良	否		
5. 安全制御プログラム	プリント基板型式を確認する	ラベルに記載されているプログラム名称が同一である	判定	良	否	
	作動の状況を確認する	電源をリセットしプログラムが正常に立ち上がる	判定	良	否	
6. かご戸スイッチ	スイッチの動作状況	スイッチ動作位置は全閉位置から25mm以下である(COタイプは50mm以下)	判定	良	否	
7. 乗場戸スイッチ	スイッチの動作状況	スイッチ動作位置は全閉位置から25mm以下である(COタイプは50mm以下)	判定	良	否	
8. かごつま先保護板	外観確認	変形、破損、腐食はなく、堅固に取付けられている	判定	良	否	
	かごつま先保護板の直線部長さの測定 ※かご敷居よりエプロン直線部下端までの長さ	規定値以上である ※規定値は適用計算書又は前年度検査記録を参照の上、明記する	規定値	mm		
			測定値	mm		
判定	良	否				

現場名 _____ :

社内登録番号: _____